

23	生活文化局	都立文化施設の魅力・利便性の更なる向上
事業概要	<p>芸術文化の創造発信拠点として、良質な芸術作品や貴重な歴史資料の鑑賞機会を提供するとともに、先進的で魅力的な事業を展開し、子供・若者・外国人・障害者・高齢者等、あらゆる環境に置かれている人を意識し、多言語対応やバリアフリー化などの環境整備を進め、施設の魅力を高める。</p>	
これまでの経過	<ol style="list-style-type: none"> 1 多言語対応についての調査結果（平成27年度）や多言語対応ガイドブック（平成28年度）等を踏まえ、各都立文化施設の特性に応じた取組を進めた。 2 バリアフリー化についての調査結果（平成27年度）等を踏まえ、順次、都立文化施設のバリアフリー化を進めた。 3 東京都庭園美術館、江戸東京たてもの園、東京都写真美術館、東京都美術館及び東京都現代美術館において、ユニークベニュー事業を実施した。 また、都立文化施設におけるキャッシュレス決済の導入を完了した。 4 各館において、「主要施設10か年維持更新計画」に基づき、順次大規模改修を実施した。 5 「東京文化戦略2030」（令和4年3月策定）に基づき、令和5年5月に都立文化施設の運営指針を策定した。 6 東京都庭園美術館において、令和5年3月にグランドデザインを策定した。 	
現在の進行状況	<p>令和7年度の状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「都立文化施設運営指針」に基づき、各施設サービスを改善・向上 2 多言語対応や、バリアフリー化の推進など継続的に環境整備を行い、来館者の利便性を向上 3 美術館・博物館の連携や魅力向上策について検討及び実施に向け着手 4 展覧会解説や公演記録映像などのオンラインコンテンツや、収蔵資料のデジタルデータを公開 5 施設の安全性・利便性向上のため、東京都江戸東京博物館において、休館を伴う改修を実施 6 東京都庭園美術館については、グランドデザインに基づき、魅力向上に向けた取組に着手 	
今後の見通し	<ol style="list-style-type: none"> 1 「芸術文化で躍動する都市東京」の実現に向けて、都立文化施設運営指針に基づき、ウェルビーイングへの貢献やデジタル技術を活用した新たな鑑賞機会の創出、芸術文化のハブ機能強化など、各都立文化施設が果たす役割や特色を踏まえた取組を推進するとともに、誰もが芸術文化を楽しめるよう、芸術文化の創造発信拠点としての機能を向上させる。 2 江戸東京博物館については、だれもが訪れたい博物館を目指し、リニューアルオープンに向けて期待感を高める取組を実施する。 3 大規模改修工事等を着実に実施し、施設の安全性・利便性を高める。 	
問合せ先	生活文化局 文化振興部 文化事業課	電話 03-5000-7237